

1 はじめに

本校では、従来から、総合的な学習の時間においては地域学習に取り組んできた。「地域と共に生きる」を全体テーマに、将来において地域に貢献できる人材育成をねらいとし、学習を進めてきた。そのねらいに迫るために、学年ごとにテーマを設定し、1学年では地域の過去を、2学年では地域の現在を、3学年では地域の未来を活動内容の中心にとらえ、課題を追及してきた。

(1) 目 標

- ① 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- ② 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究的な学習に主体的・協働的に取り組む態度を育て、自分の住んでいる地域について考えることができるようにする。

(2) 育てたい力

- ① 横断的・総合的な学習や生徒の興味・関心などに基づく学習などの過程を通じて自ら課題を見つけ、自ら学び考え、問題を解決するなどの「生きる力」を育てる。
- ② 情報の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表・討論の仕方など、学び方やものの考え方を身に付け、問題解決に向けての主体的・協働的な態度を育成する。

(3) 全体テーマおよび学年テーマ

① 全体テーマ「地域と共に生きる」

地域の一員であることを自覚し、将来において地域発展のために貢献できる人間を育てていきたいという思いを実現するために、「地域と共に生きる」を学校全体テーマに設定し、地域について考える学習を進める。

② 学年テーマ

全体テーマを受けて、学年ごとに3年間を発展的・継続的に見通した学年テーマを設定することにより、目標に迫る。

・第1学年「地域を知ろう」

「特別活動推進事業」をきっかけとし、日立市や自分たちの住む地域に関心を持ち、地域の過去や歴史について課題を設定し追及する。また、ワールドキャランを活用し、外国と自分たちの地域を比較することで、他国のよさや自分たちの地域の良さを見つめ直し、課題追及を図る。

・第2学年「茨城県について知ろう」

職場体験や郷土検定の課題追及をもとに、地域や茨城県を見つめ直し、地域の現在に関する課題を設定し追及する。職場体験学習の他、宿泊学習の取り組みも課題追及との関連を図る。

・第3学年「他の地域を知ろう」

1・2学年で調べた内容を踏まえ、さらに修学旅行で現地体験したことをもと

に地域や社会に貢献できる自分の考えをもつ。それをもとに、将来の地域発展に向けた課題を設定し、追究して発信・提案・実践をする。

2 指導案等

(1) 単元名 ワールドキャラバン「フィリピンを知ろう」(第1学年)

(2) 単元の目標

- フィリピンの文化などについて進んで調べ、興味関心を高めることができる。
- 自国の地域や文化との相違点、共通点に気付くことができる。
- 自国の地域の文化を大切にしようとする気持ちを高めることができる。
- ワールドキャラバンを通して、学んだことを適切に表現することができる。

【育てたい力と評価の観点】

育てたい力	評価の観点
話合いに積極的に参加し、活動を広げることができる。	主体的・創造的な態度
必要な情報を収集・選択し、見通しをもって問題を追究することができる。	問題解決への能力
調べたり体験したことを、工夫してまとめたり発表したりすることができる。	表現力
学習で身に付けた見方・考え方を振り返り、自分の生き方に生かそうとする。	自己への生き方

(3) 単元設定にあたって

第1学年の1学期は「心ゆたかな体験学習」をきっかけに日立市や地域への関心を高め、地域の歴史や自然、産業を調べることで地域理解を深めてきた。また、地域の中で様々な立場にある人や生活をしている人とのふれあいや体験学習から自分の生き方を見つめ、よりよい生き方について考えてきた。

本単元では、1学期に学んだことをさらにつなげるために、ワールドキャラバンを活用し、外国(フィリピン)と自分たちの地域を比較することで、自分たちの地域の良さを見直すよい機会となるようにする。10月からフィリピンについての調べ学習を行い、12月にワールドキャラバンを実施する。調べ学習の時間では、「観光」「学校生活」「食べ物」「スポーツ」「芸術」「人物」「国土」などの分野を提示し、調べたい分野を個人で選びグルーピングをした。グループごとにインターネットや本を活用しながら調べ、模造紙にまとめていく活動を実施した。本時は、グループごとに調べたことを発表していく時間である。お互いの発表を聞き合い、フィリピンの様々な習慣や文化に興味関心をもてるような機会にしたい。

(4) 指導計画

月	活動の流れ	支援・指導上の留意点
10	1 ワールドキャラバンについてのオリエンテーションを行う。 2 調べ学習のグループ分けを行う。	・ワールドキャラバンの目的や意義を理解することができる。 ・自分の調べたい分野を選ぶことができるようにする。
11	3 調べ学習を行う。	・インターネットや本を利用して調べ学習を行

1 2	4 発表会を行う。 5 ワールドキャラバンを実施する。 6 レポートにまとめる。	うことができる。 ・調べた内容が聞き手にわかりやすく発表することができる。 ・当日質問したいことをグループごとに分かれて考えることができる。 ・フィリピンの方からのお話を聞き、自分たちの地域と比較することができる。 ・体験を通して学んだことを各自でレポートにまとめることができる。
-----	---	--

(5) 本時の学習活動

① 目標

- 調べた内容を聞き手に分かりやすく発表することができる。
- 各グループごとの発表を聞き、フィリピンの文化・習慣について理解を深めることができる。

② 準備・資料

タイムテーブル，発表用掲示物，発表用原稿，感想用紙，自己評価カード

③ 展開

学習内容・活動	支援の手だて・◎評価
1 本時の学習を確認する。 フィリピンについて調べたことを発表しよう。 2 発表会を行う。 A 1日の食事について B スポーツについて C 芸術について D フィリピンの観光地について E 学校生活について F 人々について H フィリピンのイベントについて 3 自己評価を行う。 ・発表の仕方や内容について、また他のグループの発表を聞いて分かったことや疑問点について自己評価カードにまとめる。 4 本時の振り返りをする。 ・本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。	・学習活動を確認することで生徒の学習意欲を喚起する。 ・発表を聞く時には自分と比較しながら真剣に聞くように助言する。 ・各グループの発表を聞くことで、フィリピンの文化や習慣に興味関心を高めていく。 ・聞き手には発表を聞いて、わかったことや疑問点を感想用紙に記入させるようにする。 ・自己評価カードに記入することで自分の発表を振り返れるようにする。 ◎調べたことを聞き手に分かりやすく発表することができたか。(発表・自己評価カード) ◎各分野ごとの発表を聞き、フィリピンについての文化・習慣の知識を深めることができたか。(自己評価カード) ・本時の発表会についての感想を述べ、次時はフィリピンの方の講話を聞く学習をすることを伝える。

3 資料

(1) 発表会の掲示物



(2) ワールドキャラバンの様子



(3) 生徒の振り返り

・私たちの地域よりも豊かな自然がたくさんあるということや果物がたくさん採れるということがわかりました。

・フィリピンの料や理伝統的な服について学ぶことができました。洋服は、カラフルな色が多いということがわかりました。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・フィリピンについての調べ学習では、調べる分野を細かく提示したことにより、何を調べたいか具体的に考えやすくなることができた。
- ・グループ活動を取り入れたことで、異なる視点から考えたり、力を合わせたり、交流したりして協働的に学ぶことができた。
- ・発表会を通して、互いの発表を聞き、フィリピンについての文化・習慣に興味関心をもつことができた。
- ・ワールドキャラバンでは、フィリピンの方の話を聞き、自分たちの地域の生活や文化などについて比較することができた。また、調べ学習や発表会を通して、疑問に思った点を教え合うなどして、より知識を深めることができた。

(2) 今後の課題

① 学校行事との関わり

総合学習の目標と各学年の地域との関わり方を理解した上で、学校行事の計画、実践をしていく必要がある。総合の時間では、各学年の目標や取り組み、その関連性を具体的にとらえた課題設定・追究ができるように指導していきたい。

② 生徒の能力との関わり

課題設定、課題追究の学習活動は、十分な基礎・基本が身につけている生徒にとっては自分の力を伸ばす絶好の学習となると考えられる。その一方で、課題追究の方法が分からず、資料の丸写しで終わってしまうような生徒も少なくない。まず、基礎、基本を身に付けたり、調べ学習の方法を学んだりする時間を確保したい。